

籍署ニ於テ折衝ニ努メ十二月三十日圓滿解決ヲ告ケタルノ經過
左記ノ通ニ有之

記

一、會社側ノ狀況

會社ニ於テハ爭議團ノ要求ニ對シ再三讓歩シ解決ヲ急キタル
モ尚要求額トハ懸隔甚シカレシニ當應調停課及所轄署ノ折衝
ニ對シ更ニ讓歩シ次記ノ三張ノ程ニ解決ヲ告ケタリ

二、爭議團側ノ狀況

爭議團ハ日本化學勞働組合ト密接シ既報ノ如ク非合法運動ヲ
為セルトシテ爭議團幹部カ檢挙トシテ一時氣勢挫カシタル觀ヲ
見レカ新幹部ニヨリ十二月三十日以來行商等カ協法ニシテレ
テ會社重役宅附近ニ於テ行商計画ヲ為シタルカ今日解決セ
ルニヨリ實現スルコトナカリシカ他面ト全協日本化學勞働組
合蜂ハトリ分會ニユースレ(第七号迄)ヲ發行シテ係方面ニ

配布セリ

三、交渉狀況及解決條件

(1) 前報後勞資間ハ逐日交渉ヲ重ネタルカ十二月二十七日ニ至
リ會見ノ際爭議團側ヨリハ四萬五千六百六十日ヲ要求セル
ニ會社側ハ累ニ發表セル外各人ニ金百日宛加給スル旨答ヘ
シルカ纏マル處ナク引揚ケタリ

(2) 今月二十九日會見ノ際爭議團代表ハ他ノ爭議ニ依ル手當額
等ヲ引例シ要求ヲ固持シタリシカ再議ノ上三万六千八百十
日ニ讓歩セルモ尚會社索ト懸隔アリテ接近スルニ至ラズ會
社側ハ當應調停課ノ調停ニヨリ解決セント主張セルモ爭ギ
固ハ之ヲ拒否シタリシカハ解決ノ機運ニ至ラス

(3) 叙上ノ交渉ニヨリ一時決裂ノ状態ナリシカ調停課自ト所轄
署トノ折衝ニヨリ更ニ三十日會見シ爭議團代表ヨリ解雇手
當二万五千日ト爭議費用三百五十日ノ要求スル表アリタル